

3 目指す児童生徒の姿を明らかにする

＜研修の位置付け＞

児童生徒の成長・発達に対する自校の使命と児童生徒の現状を踏まえて、目指す児童生徒の姿を作成し、共有しましょう。目指す児童生徒の姿を共有することは、教育活動の方向性を一致させるための前提となります。

【目 的】 目指す児童生徒の姿を共有し、取り組みの方向性を一致させる前提をつくる。

【到達点】 目指す児童生徒の姿を具体的に明らかにし、全体で共有する。

【準備物】 模造紙 付箋紙 マーカーペン

【進め方】 (80 分)

1 目指す児童生徒の姿について協議する

- (1) 個人 (10分)
- ① 学校全体でまとめた、児童生徒の成長・発達に対する自校の使命と児童生徒の現状を再度確認する。
 - ② 児童生徒の成長・発達に対する自校の使命と児童生徒の現状を踏まえて、目指す児童生徒の姿を1枚の付箋紙につき一つ書く。(できるだけ多くの付箋紙に書く。) なお、目指す児童生徒の姿は、それが実現できたかどうか評価できるよう、具体的に書く。
- (2) グループ (15分)
- ① 付箋紙を、模造紙に貼りながら、一人ずつ書いた内容を、なぜそのように考えたのかについて触れながら説明する。
 - ② 付箋紙の意見を分類して集まりをつくり、それぞれの集まりがどのような共通性でまとめられる集まりか分かるよう、標題を付ける。
 - ③ 集まりごとに目指す児童生徒の姿を協議してまとめ、模造紙に書く。

2 新しいグループで協議する

- ・ グループ (20分)
- ① 各グループから一人ずつ集まって、最初のグループと同じ数の新しいグループをつくる。
- ② 最初のグループで出された目指す児童生徒の姿を一人ずつ説明する。
- ③ 全員の説明が終わったら、質疑応答を行う。

3 最初のグループで再度協議し、目指す児童生徒の姿を加筆修正する

- ・ グループ (10分)
- 最初のグループに戻り、他のグループの考えた児童生徒の姿との比較により、再度目指す児童生徒の姿を協議し、最初に考えた目指す児童生徒の姿を加筆修正する。

4 全体で共有する

- ・ 全体 (20分)
- ① すべてのグループの模造紙を黒板等に貼る。
- ② グループごとに、目指す児童生徒の姿を説明する。その際に、加筆修正した箇所について説明する。
- ③ 一つのグループの説明が終わるごとに質疑応答を行う。
- ④ 全てのグループの説明と質疑応答が終わったら、進行役は、多くのグループから共通して出された目指す児童生徒の姿を指摘し、多くの教職員がそれらを重要であると考えていることを確認する。

5 個人で振り返る

- (5 分)
- 研修の自己評価をし、研修で共有した目指す児童生徒の姿を実現するために、今後どのような取り組みをしていくのか、具体的に書く。